



～学びの支援ボランティア～

令和2年度「どさんこ」利用実績



学びの支援ボランティア「どさんこ」は、自らの知識・技術・特技を生かし、ボランティア講師として学習の機会を提供する取り組みです。令和2年度は38件の利用があり、延べ540人が参加しました。

「どさんこ」には、今回紹介するほかにもさまざまなジャンルの講師が登録されています。学習会やグループ活動、団体・町内会の研修など、3人以上集まれば利用することができますので、気軽に相談してください。

令和2年度の活動内容の一部を紹介します

②筆文字アート（講師：片岡明日香さん）

参加者数/33人



新メニュー「筆文字アート」では、子どもたちが白糠の自然や文化・食べ物などを題材にふるさと自慢の絵手紙を作成しました。

③折り紙（講師：佐々木真美さん）

参加者数/30人



公民館土曜サロンでは、どさんこ講師による「折り紙教室」を実施しました。参加者は色とりどりの折り紙で、バレンタイン用のプレゼントボックスを作りました。

①漁師の出前授業（講師：加藤崇さん）

参加者数/35人



ふるさと未来塾では、漁師の出前授業として、白糠漁協荷さばき施設で海産物の特徴について学んだり、漁師が使うロープワークの体験や、せりの見学会を行いました。子どもたちは、普段できない貴重な体験に目を輝かせていました。

学びの支援ボランティア「どさんこ」の講師を募集しています

教育委員会では、学びの支援ボランティアとして講師をしていただける方を募集しています。

あなたの知識や技術、特技を生かしてみませんか。資格などは必要ありません。ぜひ、教育委員会社会教育課までご連絡ください。「どさんこ」を利用される方からの連絡もお待ちしております。

問合せ/教育委員会社会教育課 ☎ 2-2287